

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

会員NO.30

**TOSHITAKO MARUYAMA**

丸山利彦



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

活動年表

氏名	丸山利彦		正式 入会	2017年 12月26日		出席率	
年号	所属委員会	理事	日本JC	地区協議会	ブロック	前期	後期
2018年	人財育成委員会					100%	86%
2019年	青少年夢み委員会 会計幹事					100%	100%
2020年	より良く長く委員会	○				100%	86%
2021年	広報委員会	○				86%	100%
2022年	総務委員会 副委員長					100%	100%
2023年	総務委員会 委員長	○				86%	100%
2024年	交流活性化委員会				政策提言 委員会	86%	

インタビュー

JCに入られたきっかけを教えてください。

JCより先にYEGに入会しており、そのYEG懇親会の時に先輩に誘われて入会しました。

JC活動で一番印象に残っていること、印象に残っている例を教えてください。

委員長時に設営した新年例会が一番緊張しました。早い時期からの動き出しでしたが委員会メンバーそれぞれが自分の役割をこなしてくれてすごく感謝しています。

また、辰吉丈一郎さんと呼んだ例会も印象に残っています。アオーレで500人規模で行い、委員会メンバーで集客のために苦労したり、事前にボクササイズの練習をやったことが思い出に残っています。

## 一般社団法人 長岡青年会議所

### 12月例会

## 羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JCに入ってから先の失敗談を  
教えてください。またその失  
敗はJC活動以外にも活かさ  
れましたでしょうか。  
特にありません。

世の中にはいろいろな考え方が  
あること、いろいろな考えを持  
った人がいることを知れまし  
た。「まちづくりをするためにJ  
Cに入ったんじゃないのか」と  
言われることには抵抗感があっ  
たが、協力したいと思える人  
の活動には自然と参加できま  
した。

JCに入られて、成長を実感  
したと思ったのはどんな時で  
したか。また、成長に繋がっ  
たと思った事業があれば教え  
てください。



JCで与えられた役職に対  
し、どんなモチベーションで  
活動していたか教えてください。  
受けてよかった点を教え  
てください  
受けたからにはやりきろうとい  
う気持ちで活動していました。モチ  
ベーションとしてはお酒、特にビ  
ールが好きなので飲み会は基本  
的に好きでした。  
役職を受けると委員会メンバーと  
連絡をとることが多くなり関係が  
深まりやすいです。

## 一般社団法人 長岡青年会議所

### 12月例会

## 羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JCの活動において、やり残したことはありませんか。また、何故そう思われるか教えてください。

特別やり残したことはありません。既存メンバーのみなさんは思う存分JC活動を行ってください。

卒業後、長岡に対してどのように貢献していこうと考えていますか。そして、どんなリーダーとしてあり続けていきたいですか。

卒業後も長岡に根ざした仕事をしたいのですが、どんなリーダーとしてあり続けたいのかはあまり考えていません。



JC卒業までにこれだけはやっておけ！後輩メンバーに熱いメッセージをください！

想いを持つことは大事だと思うが、それを強制しないようにしてほしい。ただ、強制はしないという前提で委員長、委員会スタッフとメンバーで同じ方向を向く努力は必要だと思います。



## 一般社団法人 長岡青年会議所

### 12月例会

## 羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



これからの夢を伝えてください。

基本的には現状維持でいいが、健康にお酒を飲みつつ、趣味を楽しみ、家族と過ごす時間を増やしていきたい。

ご自身にとって、「JC」とは、

「ある意味、普段の生活を変えてくれた組織。」仲間とお酒を飲めるのは楽しかったです。仕事とプライベートとJCを限られた時間の中でこなさなければならぬので、時間の使い方もうまくなりました。



## わたしが取材しました

私、堀内 慶大 がインタビューさせていただきました。



堀内 慶大

委員長経験をされた丸山御卒業生ならではの話を伺いできました。特に印象的だったのは人ベースによるフォロアーシップを發揮しながらJC活動をされてきたことです。多様な価値観があることを前提としながらも、チームは同じ方向を向くことが大切であり、そこには「何を」ではなく「誰と」が重要であることに強い腹落ち感を覚えました。また、時間の使い方やメンバーとの信頼関係の築き方、持続可能な家族サービスの方法など具体的なJC活動を支える方法を教えていただきました。活動に対する考え方から、具体的なテクニックまで実りの多いインタビューとなりました。